

報道関係者各位

IQVIA ジャパン トップライン市場データ

<2019 年会計年および2020 年第1 四半期>

2019 年会計年の日本医療用医薬品市場は、
前年比で2年ぶりのプラス成長、5年連続の10兆円超へ

- 2019 年会計年（19年4月－20年3月）：10兆6,294億円（前年比2.9%増）
- 2020 年第1 四半期（20年1月－3月）：2兆4,915億円（前年比0.2%増）
 - **2019 年会計年**では薬価ベースで10兆6,294億18百万円（前年比2.9%増）、5年連続で10兆円を超えた
 - 2019 年会計年の市場別では「病院」（5.4%増）「開業医」（0.5%増）「薬局その他」（1.2%増）で、3市場ともすべて前年度を上回るのは2年ぶり
 - **2020 年第1 四半期**では薬価ベースで2兆4,915億11百万円（前年比0.2%増）
 - 四半期毎の推移では、2019 年第2 四半期から4 四半期連続のプラス成長

IQVIA ジャパン グループ（本社：東京都港区、会長：湊方彦）は、2019 年会計年（19年4月－20年3月）と、2020 年第1 四半期（20年1月－3月）の日本医療用医薬品市場（薬価ベース）を、「IQVIA ジャパン トップライン市場データ」として2020年5月26日に発表しました。

IQVIA ジャパン グループでは、日本のヘルスケア産業の発展と透明性の創造、および社会の皆様には日本のヘルスケア市場についての理解を深めていただくため、市場規模や薬効、製薬企業および医薬品の売上、処方、疾病に関するトップラインデータをメディアや医療・医学の研究に携わっている学術研究機関に提供しています。当社はトップラインデータを開示により皆様と情報の共有化を図ることで、日本のヘルスケアの発展への貢献を目指しています。

【2019 年会計年（19 年 4 月－20 年 3 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の日本医療用医薬品市場は、薬価ベースで前年を率で 2.9%、額で 3,000 億円余上回る 10 兆 6,294 億 18 百万円。5 年連続で 10 兆円超に
- 病院市場（病床 100 床以上）は、4 兆 7,925 億 42 百万円（前年比 5.4%増）。開業医市場（病床 100 床未満）：2 兆 1,117 億 13 百万円（同 0.5%増）。薬局その他市場（主に調剤薬局）：3 兆 7,251 億 63 百万円（同 1.2%増）。3 市場ともすべて前年度を上回るのは 2 年ぶり
- 2017 年度に 1 兆円を突破した「L01 抗腫瘍剤」（16.7%増）は、売上げ規模の上位 10 薬効内で唯一最高の二桁伸び率で、2012 年度から 8 年連続で年間トップ。免疫チェックポイント阻害薬キイトルーダが、「L01 抗腫瘍剤」薬効内と共に同期の売上上位 10 製品でもトップに
- 売上げ規模の上位 10 薬効中マイナス成長は、「C09 レニン－アンジオテンシン系作用薬」「C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤」の 2 薬効。C09 は 6 年連続、C10 は 4 年連続でマイナス
- 売上げ規模の上位 10 製品では、トップに立ったキイトルーダをはじめ、抗腫瘍薬の 4 製品が占める。キイトルーダが前年 6 位からトップ。2 位のアバスチン、4 位のオブジーボ、8 位には新たにタグリッソがランクイン。売上額 1,000 億円超の製品は、キイトルーダ、アバスチン、リリカの 3 製品

【2020 年第 1 四半期（1 月－3 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の日本医療用医薬品市場は、薬価ベースで前年比 0.2%増の 2 兆 4,915 億 11 百万円。2019 年第 2 四半期から 4 四半期連続のプラス成長
- 市場区分では、病院市場（病床 100 床以上）が、1 兆 1,123 億 16 百万円（前年比 4.3%増）で、2015 年第 2 四半期からの 1 兆円超が続き、2018 年第 4 四半期から 6 四半期連続のプラス成長。開業医市場（病床 100 床未満）は 4,833 億 88 百万円（同 5.1%減）、薬局その他市場は 8,958 億 6 百万円（同 1.7%減）で、両市場とも 2019 年第 4 四半期に続くマイナス成長
- 売上規模による上位 10 薬効のうち、トップ「L01 抗腫瘍剤」、2 位「A10 糖尿病治療剤」は、変わらなかったが、「L04 免疫抑制剤」が 2 つ順位を上げて 3 位に
- 売上げ規模の上位 10 薬効で 1,000 億円超は、「L01」「A10」「L04 免疫抑制剤」「B01 抗血栓症薬」など 4 薬効、前年の「L01」「A10」に 2 薬効増えた。「L01」は、2018 年第 4 四半期以降、6 四半期連続の 3,000 億円超
- 売上げ規模の上位 10 製品では、前年 2 位の免疫チェックポイント阻害薬キイトルーダがトップ。前年から 3 位に順位を上げた同じ作用機序のオブジーボ、2 位のアバスチンと 1 位から 3 位までをがん治療薬が占めた

*** IQVIA ジャパン 「日本医薬品市場統計」における「薬効」は ATC 分類に準拠しています。**

本項の「ATC 分類 (Anatomical Therapeutic Chemical Classification) は、EphMRA (European Pharmaceutical Market Research Association: 欧州医薬品市場調査協会) により管理されている、アナトミカル薬効分類 (作用部位別薬効分類) に準じており、日本医薬品市場統計作成にあたっては、定期的に最新最適な状態に見直しを図っています。

****IQVIA ジャパン 「日本医薬品市場統計」における「販売会社レベル」と「販促会社レベル」の定義は以下の通りです。**

- 販売会社レベル: 卸店に対して製品を販売し、その代金を回収する機能を持つ製薬企業
- 販促会社レベル: MR による情報提供活動を通じて販促活動を行なっている製薬企業

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、先進的かつ高度な分析力と機能、革新的テクノロジー、および臨床試験サービスをライフサイエンス業界の皆さまへ提供する世界的なリーディング企業です。IMS Health と Quintiles の統合により誕生した IQVIA は、ヒューマン・データ・サイエンス (分析の精緻さとデータサイエンスの明晰さを、拡大し続けるヒューマンサイエンスの領域に対し活用すること) を用いることにより、ヘルスケア企業の皆さまが臨床開発とコマーシャル領域におけるこれまで無いアプローチを、新たなイマジネーションの下で発展させ、イノベーションを速め、ヘルスケア・アウトカムの改善をより一層加速させることを支援します。私たちの原動力である「IQVIA CORE™」によって、IQVIA は実務実行力を伴いながら、大規模な分析、革新的なテクノロジー、そしてスペシャリストによる幅広い専門知識、これらが交差する地点に、実用的且つ唯一無二のインサイトを提供しています。私たち IQVIA は、現在 6 万 7,000 人が、世界 100 以上の国と地域で活動しています。

IQVIA は、患者の皆さまの個人情報保護の分野においても、世界をリードしています。医療関係者の皆さまが、疾患のパターンを特定し、より良いアウトカムの実現のために必要である明確な治療方針や治療法の関連づけに資する規模での情報を収集・分析すると同時に、様々なプライバシー保護のための技術や安全対策に取り組んでおります。IQVIA が持つインサイトや実務の実行力は、治療・治癒の実現に向かい尽力するバイオテクノロジー企業、医療機器メーカー、製薬企業、医学研究機関、政府機関、保険者やその他様々な医療関係者の皆さまによる疾患そのものや人間の行動、サイエンスの進歩に対する更なる理解の深耕を支援します。IQVIA の詳しい情報はこちら (www.IQVIA.com) をご覧ください。日本向けの URL はこちら (www.iqvia.co.jp)

本件に関するお問合せ先

IQVIA ジャパン グループ
広報マーケティング統括部
広報担当
Email jp.coms@iqvia.com